

消防職員用盛夏服 仕様書

富士山南東消防本部

- 1 品名 盛夏服（長袖・半袖・ズボン・ベルト）
- 2 規格 別紙仕様書のとおり
- 3 数量 長袖 13 枚
半袖 24 枚
ズボン 26 本
ベルト 11 本
- 4 納入期限 発注から 4 ヶ月以内とする
- 5 納入場所 富士山南東消防本部 総務課
- 6 サイズ 落札業者は、各個人を採寸し、個人仕立てのものとする。
- 7 その他 同等数の中古盛夏服を引き取ること

第1 総則

1 目的

この仕様書は、富士山南東消防本部が購入する盛夏服について必要な事項を定めることを目的とする。

2 条件

この盛夏服は、十分に品質管理を行った材料及び附属品を用いた、仕上がりが優美な製品であること。

3 出荷証明書の提出

表生地については、紡績メーカーの出荷証明書を契約時に提出する。

4 見本の製作

当本部より指示ある場合は、この仕様書により見本を製作し、当本部の承認を受けること。なお、本製作は、見本の承認後とする。

5 公的機関の検査（試験）成績書の提出

表生地に関して同等品は認めないが、同質品であれば紡績メーカーは問わない。

ただし同質品で応札する場合は事前に同質品であることを証明するために、生地見本と、公的検査機関の検査（試験）成績書を提出し担当課の承認を得ること。

6 品質管理

受注者は、納入前に自主検査を行うとともに、製作工程上の品質管理の適正を図ること。

7 サイズ

各個人を採寸し、個人仕立てのものとする。

第2 仕様

1 材料

(1) 生地一般

ア 原糸は、糸ムラ、番手ムラ、撚りムラなど目立たない良質のものを使用する。

イ 織り上がりは、均整で、織りキズ、糸筋、汚れなどの品質を損なう欠点がないものとする。

(2) 表生地

トスコ（株）EC03620BL（導電性繊維）当本部指定色（上衣とズボンは別色）

混紡率 麻 15%

再生ポリエステル 85%

2 形状

(1) 上衣はシャツ型、台襟付シャツカラー、パネルフロント、後ろヨーク、胸左右雨蓋付きアウトポケット、肩章付きとする。

(2) ズボンはワンタック、裾シングル、前ファスナー、ウエストアジャスター（ウエストレッチ仕立て）付き、後ろ左右しり片玉切込みポケット付きとする。

3 縫製

(1) 一般

ア 各部の縫製は、縫い目の飛び、はずれがない優良なものとする。

イ 縫い代は、各部分に適した十分なものとする。

ウ 糸調子は、縫い目が均一で縫い曲がりが目立たないものとする。

エ 縫い目数は、次の数値を標準とする。

- (ア) 地縫い運針数 12 針以上／3 cm間
- (イ) 飾りステッチ 12 針以上／3 cm間
- オ 飾りステッチ幅は、0.5 cm幅と端ミシンとする。
- カ 飾りステッチは、表ミシンとする。
- キ ボタン穴は、ミシン穴かがりとする。
- ク 各部の合標、曲線縫いは、縫い合わせにずれがないようにする。
- ケ アイロン仕上げは、品質管理を損なわないようにする。
- コ 接着芯を使用する部分は、すべて高压加熱式芯張りプレス機を用いて全面接着をする。
- サ 布目は、パターン指定どおりにする。

(2) 上衣

ア 襟

- (ア) 上襟剣の長さは7 cmとし、幅は背中身で4.5 cmとする。
- (イ) 台襟幅は、背中心で3.5 cmとする。
- (ウ) 台襟にて上襟を挟み縫いし、身頃に縫い付ける。
- (エ) 台襟下部は2条縫いとし、下部の1条は裏を落とす。
- (オ) 上襟の周囲には（下部を除く）、0.5 cmの飾りステッチをかける。
- (カ) 表襟はゆとりを持たせ、折り返りの厚みを引かれぬようにする。
- (キ) 上襟には、作り芯を使用する。
- (ク) 襟つりは、幅概ね1.0 cmの共布又は織りテープとし、襟腰中央下端に挟み縫いする。

イ 肩縫い

ヨークで前身を挟み、端ミシンで縫う。

ウ 袖付け

- (ア) インターロック又は地縫い裁ち目オーバーロックかがりとする。
- (イ) 縫い代は身頃側に片倒しとし、0.5 cmの飾りステッチをかける。

エ 袖及びカフス

- (ア) 袖は1枚袖とし、袖縫いは身頃脇縫いと通し縫いする。
- (イ) インターロック又は地縫い裁ち目オーバーロックかがり（巻状で飾り縫いも可）とする。
- (ウ) 長袖の袖口の剣ボロは身頃を挟み、端は二つ折りにして端飾りステッチを施す。
- (エ) 長袖の剣ボロは、上前幅2.5 cm、丈16.5 cm、下前幅1.0 から1.2 cm、丈14.5 cm以上、開き13.5 cmを目安とし、開き止まりは2条縫いとする。
- (オ) 長袖の剣ボロには、カフス根本より5.5 cm上部にボタン穴をあけ、下ボロに付けた相方のボタンにて留められるようにする。
- (カ) 長袖のカフス付け部は1.0～1.2 cmと端ミシンの2条縫いをする。
- (キ) 長袖の外側に深さ1.5 cm（型紙数値）のヒダを2本取り、袖開きの方へ倒し、剣ボロの端とヒダの間隔は約3.0 cmとする。
- (ク) 長袖のカフスの仕上がり幅は、6.5 cm（±0.3 cm）とし、角は小丸に落とす。
- (ケ) 長袖のカフスの上袖側にはボタン穴をあけ、下袖側にはレギュラーボタンとアジャストボタンの2個をつける。
- (コ) 長袖のカフス周囲（付け部は除く。）は、0.5 cmの飾りステッチをかける。
- (サ) 半袖の袖口は内巻きの三つ折りとする。

オ 脇縫い

袖縫いと通し縫いし、インターロック又は地縫い裁ち目オーバーロックかがりとする。

カ 胸ポケット

- (ア) 左右の胸の位置に、張り付けポケットを周囲端ミシンで縫着する。
- (イ) ポケット寸法は、口幅 13 cm・内側深さ 14 cm・外側深さ 15 cmを目安とし、下角は、隅切りにする。
- (ウ) 口布は 2.0 cm以上とし、裁ち目は三ツ折返しにして隠すか、オーバーロックミシンかがりとする。
- (エ) ポケット中央部に深さ 1.0 cmのオガミヒダを 2 本取り、0.5 cmの飾りステッチをかけ、ヒダは中央に向けて倒す。2 本のヒダ端は、綺麗に合うようにする。
- (オ) 口の両端はかんぬき止め（ミシンかんぬきコ型または三角）とし、面ファスナー（凹面・表生地同色系）を上部に 2 箇所縫い付ける。
- (カ) 雨蓋（飾りボタン付き）には芯を入れて地縫い返しし、周囲に飾りミシン（上部を除く）をかける。面ファスナー（凸面・表生地同色系）を雨蓋裏に 2 箇所縫い付ける。
- (キ) 雨蓋の寸法は、幅 14 cm・高さ中央 6.5 cm・両端 4.5 cmを目安とし、五角形の本墨型とする。
- (ク) 雨蓋の上端は身頃に縫い付け、折り返して、押さえミシンをかける。折り返し部分の端は、表に出ないようにする。
- (ケ) 左ポケット雨蓋の内側より 1.5 cmに、口幅 3.0 cmのペン差し穴を開ける。
- (コ) 左ポケットの雨蓋を取り付ける際に、手帳止めループを挟み込んで付ける。

キ 前立て

- (ア) パネルフロント仕立てとし、芯（共地芯も可）を入れ、両端に 0.5 cmの飾りステッチをかける。
- (イ) 上前にはボタン穴を 6 個あけ、下前にはボタンを 6 個付ける。
- (ウ) パネルの幅は、3.5 cm上がりとする。

ク ヨーク

- (ア) 裏付きの 2 重仕立てとする。
- (イ) ヨークの幅は、背中央で 7.0 cm上がりとする。
- (ウ) ヨークで後ろ身頃を挟み、0.5 cmの飾りステッチで縫う。

ケ 肩章

- (ア) 周囲は地縫い返しし、飾りミシンをかけ、先端にボタン穴をかがり、肩に付けた相方のボタンにて止められるようにする。
- (イ) 肩章は袖付けに挟み込んで縫い付ける。
- (ウ) 芯を貼り仕上がり寸法は根元で 5.0cm・先端で 4.0cmとし、剣先を槍にすること。
- (エ) 肩章根元より約 4.0cmを身頃に地縫いし、根元と身頃に地縫いをした縫い目の間に十字の縫いをする。

コ 背ヒダ

- (ア) 後ろ身頃中央に表箱ひだをつける。
- (イ) ひだの幅は 3.5 cmとする。

サ すそ

- (ア) 幅 0.3~0.6 cmの三巻縫いとする。
- (イ) 左右脇には、くりを入れた馬乗り付きとする。

シ 標識及び個人ネーム（半袖上衣のみ）

左胸ポケット雨蓋から 1.0 cm 上の位置に面ファスナーを縫い付け、当本部指定色及び文字にて上段に「富士山南東消防本部」、下段に「苗字」を刺繍した共生地プレートで脱着式とする。

ス 階級章止め

(ア) 右胸ポケット雨蓋から 1.0 cm 上の位置に、階級章取付け用面ファスナー（凹面・表生地同色系）を縫い付ける。

(イ) 寸法は、幅 2.5 cm 長さ 4.0 cm とする。

セ エンブレムの台座

左袖上部にエンブレム用面ファスナーを縫い付けること。

ソ 氏名札（片布）及びサイズ札

(ア) 氏名札（片布）は下前裾の裏側に付ける。

(イ) サイズ札は襟腰下部に挟み込んで付ける。

(3) ズボン

ア 脇ポケット

(ア) 斜めポケットを左右脇に各 1 個つける。

(イ) 口布は、表地を中心で 1.0 cm 以上折り返し、0.5~0.7 cm の飾りステッチを入れ、向当布は脇縫い目から表地を中心で 5 cm 以上とし、それぞれ袋地に縫い付ける。

(ウ) 口布、向当布とも端の裁ち目はオーバーロックかがりするか、耳使いまたは、折り返して処理をする。

(エ) 口の下端はかんぬき止めをし、ポケット袋は地縫い返しして飾りステッチをかけ、上端は表、裏とも必ず 1.0 cm 以上腰帯にかかるようにし、ポケット袋の縫い付けは可能な限り最後まで縫う。

(オ) 右ポケットの袋内部に、幅 8.0 cm、深さ 6.0 cm と 11.0 cm を目安にした斜め口の忍びポケットを縫い付ける。

イ しりポケット

(ア) 片玉縁作りとし、左右に各 1 個つける。（玉縁作りミシン使用可）

(イ) ポケットは、腰帯下より 4.0 cm ・口幅 14.0 cm ・深さ約 18.0 cm とする。

(ウ) ポケット周囲は端ミシンをかけ、口の両端はかんぬき止めをする。

(エ) 向当布は幅 3.0 cm 以上とし、裁ち目はオーバーロックかがりし、袋地に縫い付ける。

(オ) 左のみ中央上部にボタン穴をかがり、向当布にボタンを縫い付ける。

(カ) ポケット袋は、地縫い返しして飾りステッチをかける。

(キ) ポケット袋の上端は、表裏とも必ず 1.0 cm 以上腰帯にかかるようにする。

ウ タック

(ア) タックは外向きに倒す。

(イ) 前身頃センターに 1 本のワンタックとする。

エ 腰ダーツ

(ア) 左右後ろ身頃の腰部にダーツ（尻癖）をとる。

(イ) 左右各 2 本とする。

オ 天狗及び前立て

(ア) 天狗はしんを入れ、裏と地縫い返しし、奥はオーバーロックかがりする。

(イ) 天狗の鼻は島で持ち出すか剣型の「ち」をつけ、先端にボタン穴をかがる。

- (ウ) 前立てにはしんを入れ、表裏を地縫い返しし、奥の裁ち目はしんとともにオーバーロックかがりする。
- (エ) 前立て飾りは、幅 3.5 cmとする。
- (オ) 天狗、前立て上部に座金前かんを付ける。位置は、腰帯幅の中央にする。
- (カ) 前立てファスナー開き口下端に、天狗裏側から前たてとともに、かんぬきを入れる。

カ ファスナー付け

- (ア) 天狗側は身頃端を折り、天狗との間にファスナーを挟み、縫い付ける。
- (イ) 前立て側は、前立て裏にファスナーの上端を二つ折りするか、腰帯の下に差し込み、耳は2条縫いで縫い付ける。

キ 脇縫い及び内股縫い

- (ア) 地縫い割りとし、二重縫い又は環縫いミシンとする。
- (イ) 裁ち目は、オーバーロックかがりする。

ク 尻縫い

- (ア) 地縫い割りし、二重縫い又は環縫いミシンする。
- (イ) 上部の縫い代は 2.0 cm以上とし、裁ち目はオーバーロックかがりする。
- (ウ) 棒シックは、股ぐりにそって、ミシン縫いで表まで打ち抜く（天狗からの続きシックも可。）。

ケ 腰裏

- (ア) マーベルトスレーキを使用し、前立側両端はそれぞれ天狗と前立ての前かんの下まで入れる。
- (イ) 後部（尻縫い目）は縫い割りする。
- (ウ) 左右脇縫い目の箇所、後ろ身側の腰裏下に前身側の腰裏が入るようにする。
- (エ) 後身側の腰裏の下端は、脇縫いの個所で、表生地にとり、かんぬき止めをする。

コ 膝裏

- (ア) 前身頃上端より膝下まで、膝裏を付ける。
- (イ) 両脇は、表生地とともにオーバーロック膝りをする。
- (ウ) 裾は振らして、耳を使うか三巻縫いをする。

サ 腰帯（ウエストレッチ仕立て）

- (ア) 腰は 3.5cm の腰帯付とし、脇縫いの個所で、後ろ身側の腰帯下に前身側の腰帯が入るようにする。
- (イ) 腰帯内部に後身側から前身側および前身側から後身側にそれぞれ伸縮テープをわたし、前身側と後身側が互いに引き合い腰廻りの伸張が左右ともに各 2.5cm 以上、出来るようにする。（腰帯裏に伸縮テープが見えないように処理する。）※注入式

シ バンド通し

- (ア) バンド通しは、前身センター・脇縫い部・後身中程・尻縫いより 1.0 cm離れた箇所に付けた、8本付けとする。
- (イ) ループは、折り返し・かがり部等がはずれないように強固に作り、両端は端ミシン縫いし、幅 0.8~1.0 cm・使用部 4.5 cmとする。
- (ウ) 取付位置は、ズボン上端より目安として 1.0 cm控え、上部は概ね 0.5 cm浮かせて付ける。
- (エ) バンド通し付けは上・下部ともに強固に縫い付けること。

ス 裾

(ア) 裾は、折り返し幅 3.0 cm以上とし、裾上げをする。

(イ) 裁ち目は、オーバーロックかがりをするか、三ツ折返しする。

セ 氏名札（片布）及びサイズ札

(ア) 氏名札（片布）は袋地に付ける。

(イ) サイズ札はベルトループ下に挟み込んで付ける。

ソ 品質表示

繊維製品の品質表示規程に定める方法等により氏名札の下部に印刷または小片札にて表示する。

タ ベルト

(ア) 素材 ナイロンベルト 紺色

(イ) バックル ローラーバックル 消防官徽章を付けたもの

(ウ) 長さ 各体系に応じたもの

第3 補則

1 梱包と納品

1枚（本）ごとに上衣・ズボンを袋に収納する。

2 その他

検収後であっても、生地、付属品及び寸法等縫製上の欠陥が認められたときは、受注者の責任とし、無償で修理又は交換すること。疑問点が生じたときは、必ず担当者と綿密に打合せするとともに、仕様書記載以外の縫製にあっても、誠意をもってあたること。

上衣サイズ

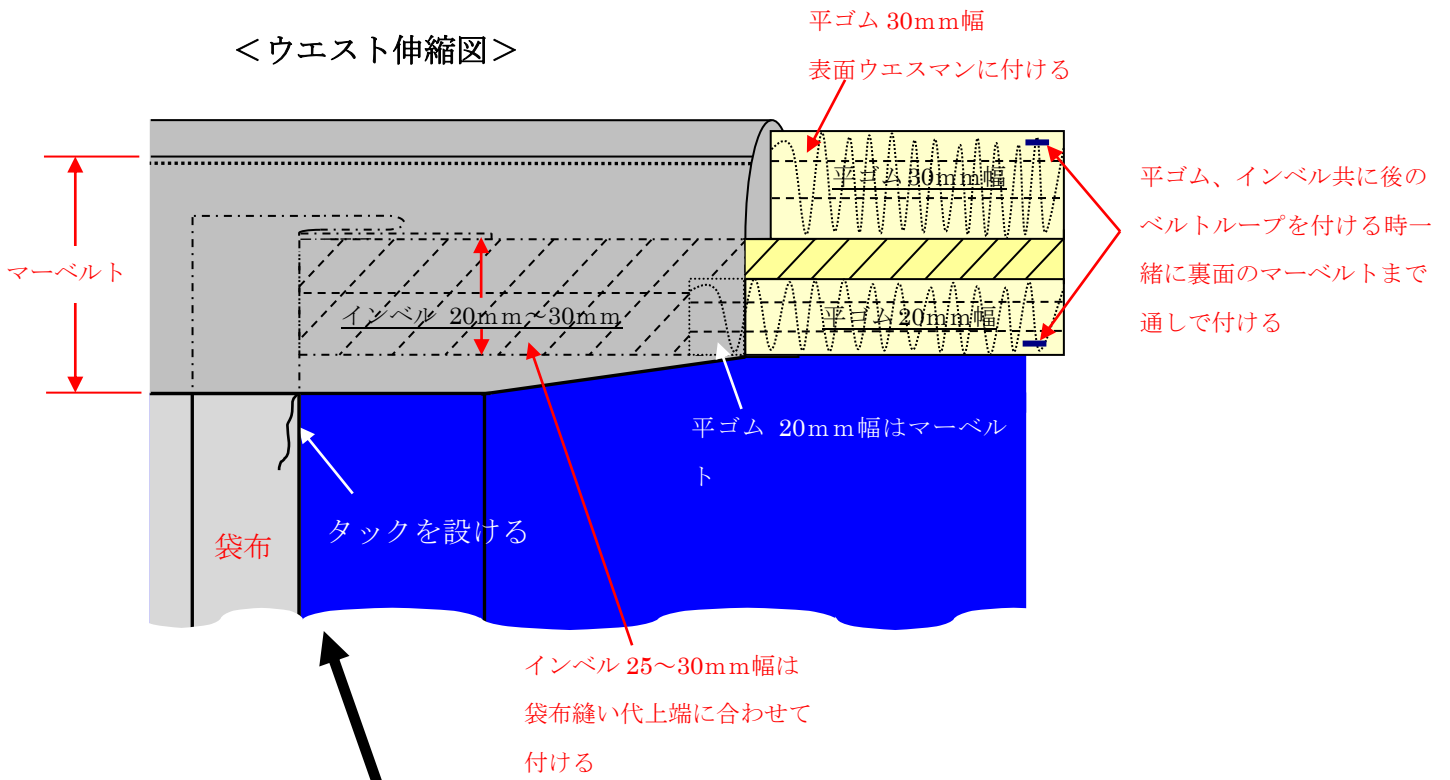
ネックサイズとする。

ズボンサイズ表

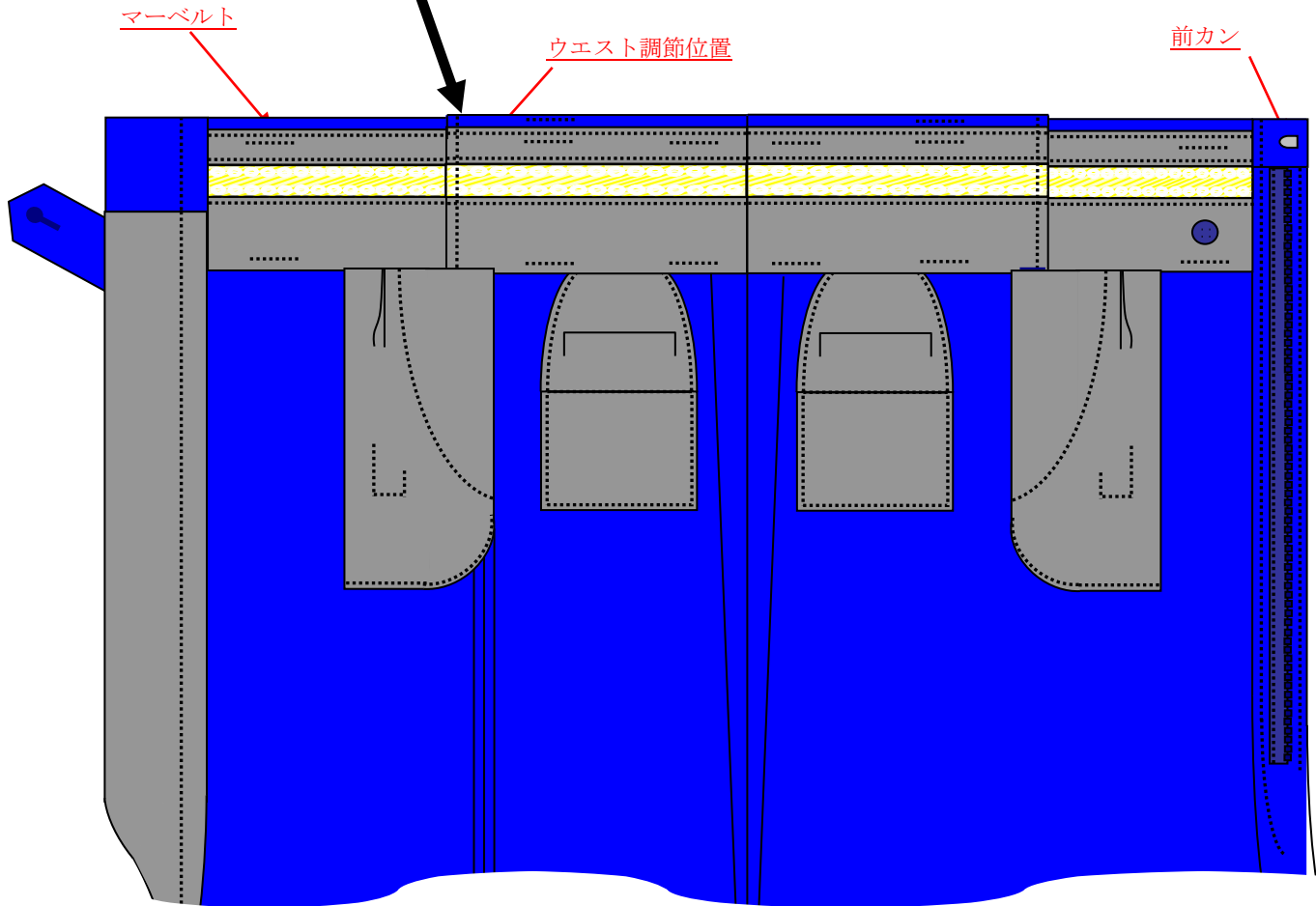
(単位：cm)

サイズ	ウエスト	ワタリ巾	裾口	股下
1号	70	33.5	23	74
2号	73	34	23	74
3号	76	34.5	24	74
4号	79	35.5	24	74
5号	82	36	24	74
6号	85	36	24	74
7号	88	37	24	74
8号	91	38	25	74
9号	95	39	25	74
10号	100	41	25	74
11号	105	42.5	25	74
12号	110	44	26	74

<ウエスト伸縮図>



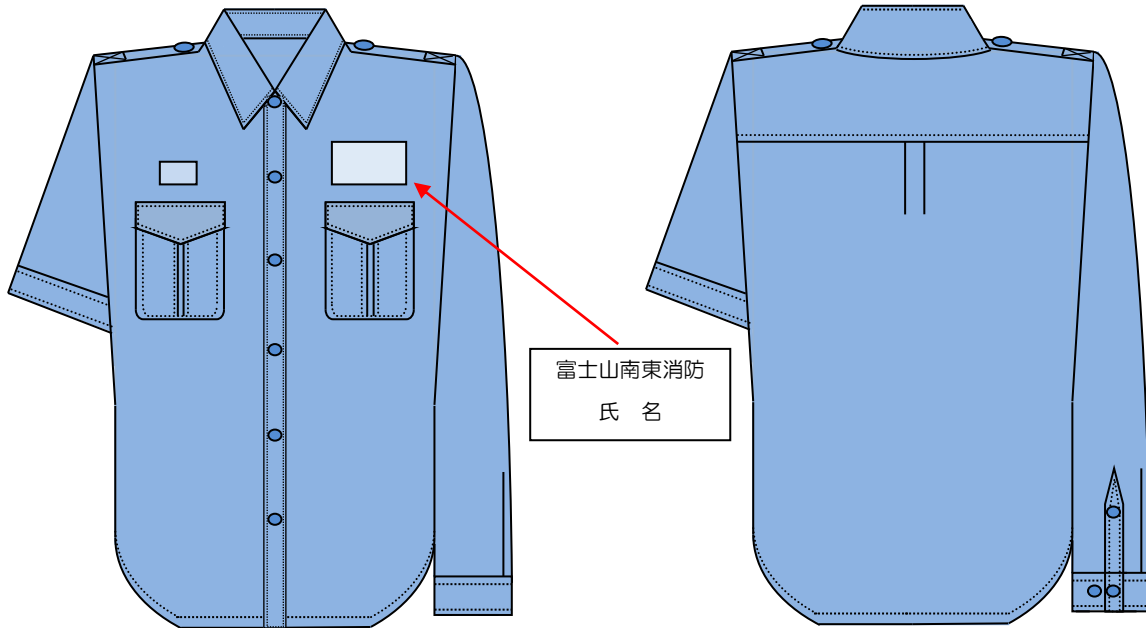
<裏ウエスト全般図>



略図

前 面

後 面



前 面

後 面

側 面

